

新規採用・削除医薬品等通知

供給不足による薬品変更通知

変更後	変更前
● <u>在庫消尽後変更</u> ピリヴァジェン 10%静注	献血グロベニン-I 静注用 2500mg・5000mg

出荷停止・供給不足により今後欠品となる薬品

テラムロ配合錠 AP「トローワ」

(テルミサルタン 40mg・アムロジピン 5mg の合剤)

適応追加通知

(下線部太字追加改訂、=部削除)

<p>ベオビュ硝子体内注射用 キット 120mg/mL</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性 ○糖尿病黄斑浮腫 <u>○増殖糖尿病網膜症</u> <p>【用法・用量】</p> <p>〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉</p> <p>ブロルシズマブ(遺伝子組換え)として 6mg(0.05mL)を<u>導入期においては 4 週ごとに 1 回、連続 3 回(導入期)硝子体内投与する。または、6 週ごとに 1 回、連続 2 回硝子体内投与するが、症状により 1 回追加投与できる。</u>その後の維持期においては、通常、12 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。</p> <p><u>〈増殖糖尿病網膜症〉</u></p> <p><u>ブロルシズマブ(遺伝子組換え)として 6mg(0.05mL)を 6 週ごとに 1 回、通常、連続 3 回(導入期)硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。その後の維持期においては、通常、12 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。</u></p> <p>〈他〉省略</p>
<p>アネメトロ点滴静注液 500mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○嫌気性菌感染症 <p>〈適応菌種〉</p> <p>本剤に感性のペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、クロストリジウム属、ユーバクテリウム属</p> <p>〈適応症〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敗血症 ・深在性皮膚感染症 ・外傷・熱傷及び手術創等の二次感染 ・骨髓炎 ・肺炎、肺膿瘍、膿胸 ・骨盤内炎症性疾患 ・腹膜炎、腹腔内膿瘍 ・胆嚢炎、肝膿瘍 ・化膿性髄膜炎 ・脳膿瘍

<p>アネメトロ点滴静注液 500mg</p>	<p>○感染性腸炎 〈適応菌種〉 本剤に感性のクロストリジウム・ディフィシル 〈適応症〉 感染性腸炎(偽膜性大腸炎を含む) ○アメーバ赤痢 【用法・用量】 ○成人 通常、成人にはメロニダゾールとして1回 500mg を1日3回、20分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1回 500mg を1日4回投与できる。 ○小児 〈嫌気性菌感染症、感染性腸炎〉 <u>通常、小児にはメロニダゾールとして1回 7.5mg/kg を1日3回、20分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1回 10mg/kg まで増量でき、また、1日4回まで投与できる。ただし、1回量は500mgを超えないこと。</u> 〈アメーバ赤痢〉 <u>通常、小児にはメロニダゾールとして1回 10mg/kg を1日3回、20分以上かけて点滴静注する。なお、重症例では、1回 15mg/kg に増量できる。ただし、1回量は500mgを超えないこと。</u></p>
-----------------------------	---